

令和2年4定 一般質問 開催状況

開催年月日 令和2年12月2日

質問者 日本共産党 菊地 葉子 議員

担当部課 総合政策部交通政策局新幹線推進室

質問要旨	答弁要旨
<p>三 地方交通について</p> <p>(一) トンネル残土問題について</p> <p>北海道新幹線渡島トンネル工事で北斗市の受入地への搬入条件に適さない高濃度の重金属含有土が出現しました。見込み量を超え新たな仮置き場が必要とのことですが、高濃度のしかも予想を超える出現量について知事の認識を伺います。道には2年間も報告がなかったことは重大だと考えますが、知事はどう受け止め、どう対応するのですか。</p> <p>このような杜撰な対応では、施工前ボーリング調査の信憑性も疑われ、札幌延伸についても不信が広がります。新幹線の工事を一度立ち止まるべきではありませんか。</p>	<p>【交通企画監】</p> <p>地方交通に関し、新幹線建設工事に伴うトンネル発生土についてであります。建設主体の鉄道・運輸機構においては、発生土の地質を的確に把握するため、施工前の鉛直方向へのボーリング調査に加え、実際にトンネルを水平に掘削する時点においても、地質の分布や成分を分析する調査を行っており、今般の渡島トンネル工事のように、施工前の調査と実際の地質が異なる場合などは、学識経験者による委員会において、改めて、その対策を審議し、周辺環境に影響を及ぼさないよう適切に対応しているものと承知しております。</p> <p>道といたしましては、今後とも、発生土の適正処理や円滑な工事の実施に向け、沿線市町村や機構などで構成する連絡・調整会議などにおいて、関係者と十分な調整や情報の共有を図るとともに、関係自治体や地域住民の方々へのより丁寧な対応について機構に求めるなど、新幹線の2030年度末の札幌開業に支障が生じないよう、関係機関との連携を一層深め、引き続き、取り組んでまいります。</p>